

地域住民説明会での主な意見

= 適正規模に関連すること =

- 子どもは、大勢の子どもたちや先生と接し、触れ合うことで心が豊かになり成長していく。統合することによってそういう機会も増え、教育効果も大きくなる。1クラスの人数を少なくしても学級数を増やす方が良いのか、今後の課題として検討してもらいたい。
- 通学時の安全面は考えて頂きたいが、通学距離を問題とするのではなく、教育効果や子どもが人間関係を培っていくといったことから2クラス以上が望ましい。
- きめ細かい教育が出来ない学校には適正規模だからと言っても行かせたくない。
- クラス替えができるということだけで適正規模にした場合、一人一人に目が行き届くといった小規模校の良さが損なわれるのではないかという不安がある。
- 子どもの安全とか、学習環境を確保するには今のままで良いと思う。統合しなければならない理由が見えないし、いまこそ少人数の子どもたちでゆとり教育をする良い機会ではないか。
- 1学年1学級が問題であると言うのであれば、学級の人数を少なくして複数学級にするのが理想ではないか。
- 教育効果を考えると35人程度が一番良いと考える。現状は20人前後であるが、35人くらいが先生も指導しやすいのではないか。
- 適正規模というのは大事だと思うが、24学級よりは12学級の方が良いと思う。これからは児童も減少し、学級数に反映されていくのであるから学級編制も考慮してもらいたい。
- 12学級と決まっているから、12学級未満の所はくっつけようと単純に決めてしまうことはやめてほしい。
- 同級生が増えるのであれば通学距離が長くなってても良い。

地域住民説明会での主な意見

- 統合を早くしてほしい。6年間一緒のクラスというのは人間関係が濃密になりすぎる。クラス替えは必要と思う。
- 学校間の交流が非常に少ない。レク的なことを、PTA主催で行っても良いし、工夫次第で実施可能ではないか。
- 適正規模を考える上で管理コストのメリットや経済的な効果を視点に取り入れるべきだ。
- 団地地区の保育園や幼稚園には説明会をした方が良い。
- 説明会は北広島団地だけで行っているが、全市的に説明会を行い意見を貰ってはどうか。
- 教育上の効果について、学校規模の調査や研究を行ったもののデータがあれば載せた方が良い。
- 財源的なことも検討をしていく必要があるのではないか。
- 学校は地域の避難場所として指定されている。学校は地域とのつながりも密であり、教育上だけで考えていくと地域がさびれてしまうので、そういう点も考慮して検討していただきたい。
- 大人だけで決めるのではなく、子どもの視点も入れ、一緒に考えていくことが大事ではないか。

= 適正配置に関連すること =

- 学校が遠くなれば通学に不安がある。その辺も配慮して適正配置を考えて頂きたい。
- 緑陽小学校の通学区域のうち、松葉町1丁目～4丁目までを広葉小学校に戻して欲しい。
- 通学時の安全確保の一つとして、緑道などで大きな木が死角になっているようなと

地域住民説明会での主な意見

ころは木を切るといった対策から始めるのも一つではないか。

- 小学校の間は歩くことを基本として欲しい。通学距離は低学年の足で寄り道をしないで、20分、最大でも30分以内として欲しい。
- 統合する場合、40人学級の3クラス、18学級が限度ではないか。クラス数ばかりでなく、1クラスの児童数が問題となってくると思う。これから特別支援教育が入ってくるという中では、これ以上のクラスでは無理があるのではないかと思う。
- 学校選択性を導入すべきでないか。
- 統合は止めて頂きたい。広葉小を本校にしてあとの3つを分校として存続することは出来ないのか。危険を負わせてまで遠くの学校に通わせず、このまま残していただきたい。
- 4校が統合できないのであれば、江別市が行っているような学校選択性も検討してもらいたい。
- 統廃合となった場合、学童クラブの事についても考えて頂きたい。

(注) 会議録から要約したものであり、発言すべてを記述したものではありません。